

# 学校

習志野市教育委員会  
教育だより



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyouiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1

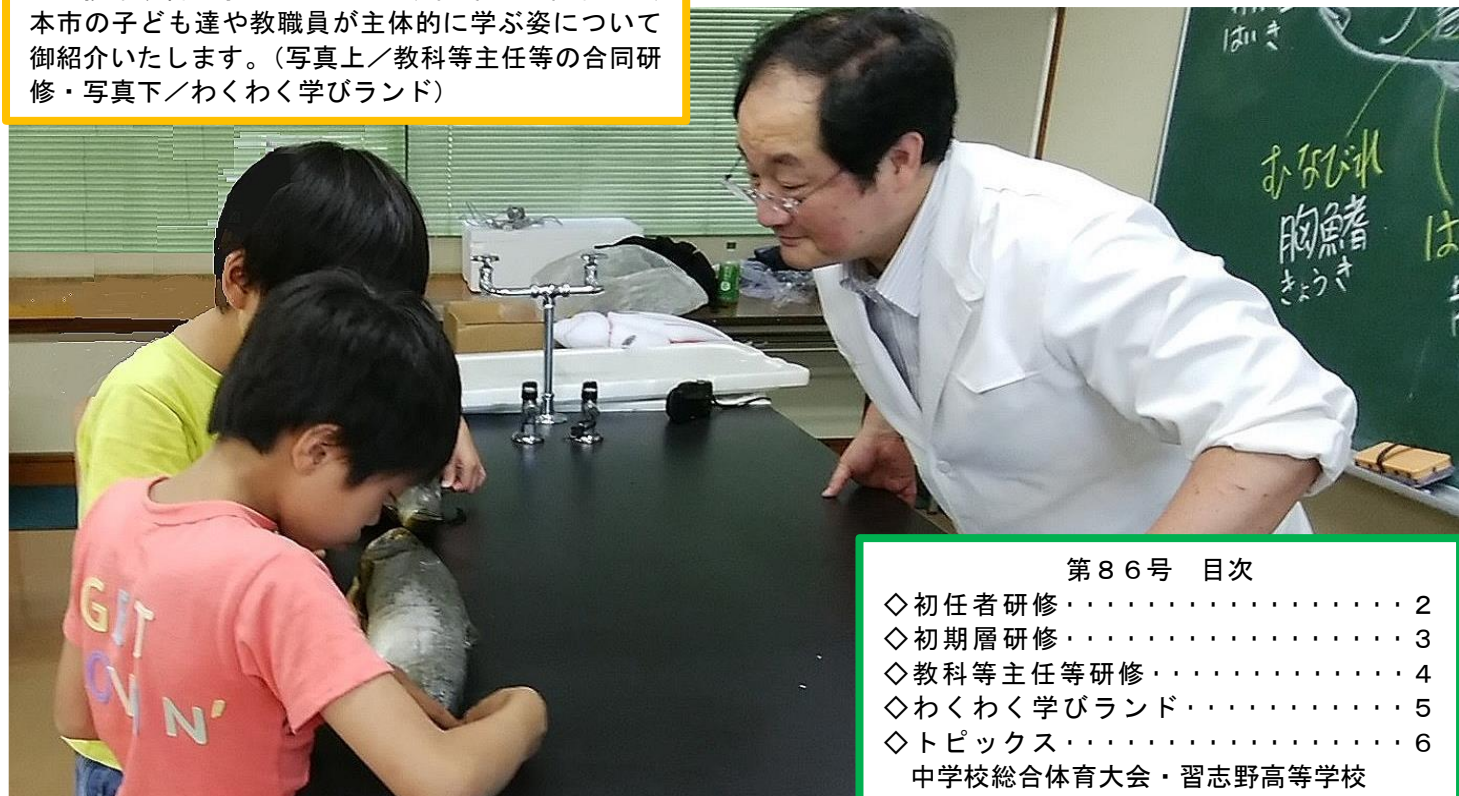
電話 047-451-1132

平成 29 年 8 月 23 日発行 NO. 86

## 主体的な学びのために



変化の激しい時代を生きていく子ども達に必要な資質・能力を育成するためには、「どのように学ぶか」という学びの質を高めていくことが必要であり、学校においては「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。そこで本号では、本市の子ども達や教職員が主体的に学ぶ姿について御紹介いたします。(写真上/教科等主任等の合同研修・写真下/わくわく学びランド)



### 第 8 6 号 目次

- ◇ 初任者研修 ..... 2
- ◇ 初期層研修 ..... 3
- ◇ 教科等主任等研修 ..... 4
- ◇ わくわく学びランド ..... 5
- ◇ トピックス ..... 6

中学校総合体育大会・習志野高等学校

# 初任者研修

見て！聞いて！  
話して！  
主体的な学び  
を深めよう

# 「授業力アップ 実践研修」

授業力アップ実践研修・・・初任者が授業力に優れた先生の授業の見学後、協議会で指導力向上に必要なことを学ぶ研修を開講しました。小・中学校それぞれ各3回予定しています。第1回目となる今回は、各授業者にポイントを2つ挙げてもらいました。

6月27日（火）中学校第1回 第七中学校  
1年生 数学 授業者 藤井 新太郎 教諭

6月28日（水）小学校第1回 実籾小学校  
4年生 理科 授業者 吉田 泰則 教諭

## ①生徒が安心する授業

生徒が安心して授業に集中できる環境を作ることがとても大切なことです。先生を信頼して、自分の考えを積極的に話すことができる場を生徒と一緒に作っていきましょう。そのためには、まず授業規律について、1年生の時からしっかり守らせることで、授業に集中して取り組む生徒が増えていきます。それぞれの学校にあった授業規律を確立するようにしてください。

## ②生徒を引き付ける力

授業に魅力がないと生徒はなかなかついてきません。教師としての技術（技）を磨いていくことです。「教師は役者であれ」という話を、先輩



の先生から伺ったことがあります。授業中、役を演じることにより、発表しやすい環境づくりをしましょう。生徒の発言行動を素早く読み取り臨機応変に対応できる先生になってほしいです。

## ①自らが笑顔で授業

初任者の顔が硬く、緊張が見られることから「その顔で授業をしたら、子ども達が暗い顔で授業を受けることになるよ」という話をしました。初任者は、確かにその通りだという表情をしていました。授業で、子ども達にたくさんのことを教えたいという思いを伝えたいなら、優しい笑顔で子ども達と接していくことが一番大切なことです。

## ②ねらいある授業展開

授業の進め方の工夫として「子ども達の実態に合わせた授業展開」をすることが大切です。その実態を踏まえ、45分間の授業の中で、子ども達が輝く時間を作ることです。教師がどう子ども達に教えるかで、興味は何倍にも膨れ上がります。1回1回の授業を大切に考えて、すばらしい授業展開ができる教師になってください。



今年度2回目3回目の授業力アップ実践研修の期日・場所・教科・学年・授業者

	小学校第2回	小学校第3回	中学校第2回	中学校第3回
期日	9月27日	1月24日	9月12日	2月20日
場所	津田沼小学校	香澄小学校	第六中学校	第四中学校
教科	外国語活動	道徳	国語	道徳
学年	6年生	1年生	3年生	2年生
授業者	高田 聡 教諭	岩瀬 滋子 教諭	宮内 里津子 教諭	武田 薫 教諭

### 実践することの大切さ

研修は、一人一人の自覚によりその価値が大きくなったり、そうでなかったりします。「少しでも自分の力量や資質を向上させるぞ」と意欲的に受講すれば、たった1度の研修だけでも大きな力になります。その上で、真の実力にするためには、話を聞いただけ、大切なことをノートに取っただけではなく、研修で学んだ内容を実践することが大切だと考えています。

初任者研修担当 三上 和隆

# 初期層研修 ☆鹿野山少年自然の家 ▲

【主な内容】 8月7日（1日目）児童生徒のバスの過ごさせ方（行き）、緊急時の対応・登山  
飯盒炊爨・自主研修（キャンドルサービス）

8月8日（2日目）火起こし体験・児童生徒のバスでの過ごさせ方（帰り）、緊急時の対応

## 第五中学校 石井 雅人 教諭

台風の通過が心配される中、初日の登山には影響せず、秋元城コースを回ることができ社会科を教える教師として学ぶことが多く、実際に体感したことで生徒により深く学ばせることができそうです。

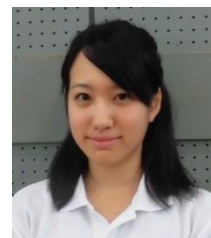


飯盒炊爨では、昨年度の富士吉田での研修経験を活かし、3年目研修生として2年目研修生の見本となれるように積極的に行動することができました。

自主研修では、雨のため体育室でのキャンドルサービスとなりましたが、グループに分かれて短い時間でのスタンツづくりと発表は、充実した時間になりました。火起こし体験では、仲間との協力の大切さを改めて感じることができました。今後、生徒たちに還元していきたいと思えます。

## 屋敷小学校 渡邊 愛梨 教諭

研修を通して、46名の仲間と同じ目標に向かい切磋琢磨し合ったことで友好を深めるとともにより固い絆で結ばれたように感じます。登山活動では、互いに励まし助け合いながら、目的地に立った時に感じた達成感は忘れられません。飯盒炊爨では、仲間と協力し合うことの重要性を感じました。仲間と一緒に作ったカレーの味は格別でした。



研修全体を通し、指示の出し方や集団行動の心構えなど教師としてどのように指導を行えばよいか、児童の目線に立ちながら学ぶことができました。教師としての使命感と熱意がより強められたとともに、とても有意義で学びの多い二日間になりました。今後の指導に活かしていきたいと考えています。

## 市・県の研修で学ぶ！

～新しい情報に触れ、

異校種の先生方とかかわる～

## 第四中学校 武田 薫 教諭

私の夏休みは「自主的に研修を受ける」と決めています。以前、重度の発達障がいをもった生徒を受け持ったことがきっかけで、市の「教育相談研修」を必ず受講しています。

今年度は、教育相談以外に、「授業に役立つICT活用実践研修」と「確かな国語力を育てる研修」も受講しました。ここ2、3年はICTを積極的に取り入れて授業をしていたつもりですが、受講をしてみて、今までのような使い方では時代の波に乗り遅れていることがわかりました。

このように研修を受けることで、たくさんの新しい情報に触れ、多くの知識を身につけることができます。さらに私にとっては、研修という場が、他市や異校種の先生方とも話ができる場であるのも魅力の一つです。同じ興味や関心を持って集まった、普段は滅多に交わらない先生方との交流は、豊かで多面的な考え方に触れることができる貴重な場です。いくつになっても平等に刺激をたくさん受けられるのが、研修の良いところだと考えています。自分の研修が、子ども達に還元されると信じて、これからも積極的に研修を受けていきたいと思っています。



# 教科等主任等研修の選択制講座

より主体的・能動的な  
研修を目指して

研修担当指導主事 近藤 篤史

夏休みに行なわれた教科等主任等研修の一部で、今年度から午後の講座を選択制に変え、教職員がより自主的に研修を行えるようにしました。以下の研修は、7月31日英語科、算数・数学科の選択講座の内容を紹介しています。今後さらに充実した研修になるように工夫・改善していきます。

## 「教科経営を充実させるための教科主任の役割について」

講師 第四中学校 教頭 村瀬 富彦

教科主任としての役割について例を挙げグループ協議が行われました。その中で、教科主任はコーディネーターであり、全てを一人で行うのではなく、他の先生方に指示を出すことや全員で進めていくことの意義について話されました。教科主任として最も大切なことは、イニシアチブをとることです。教科部会を円滑に運営し、他の先生方より先に動くことが大切であると言った声が聞かれました。



## 「ALTと効果的なチームティーチングについて」

講師 千葉市立川戸中学校 校長 雑賀 ますみ

英語科におけるコミュニケーションの定義、コミュニケーション能力の定義、英語科におけるチームティーチングの定義について講義を受けた後、ミニ模擬授業を通して実際のALTとの授業について研修が行われました。

「英会話」と「英作文」の授業を主体にした授業にするとALTと効果的なチームティーチングになるということ、ミニ模擬授業を通して学んでいました。特に、日本語を英語に訳すとき、1 on 1 match（日本語1つに対して英語を1つあてはめる）から脱却することが大切である。また、英語とは説明に適した言語であること日本語は一人称で書く身辺雑記に適した言語であることを理解したうえで、英作文の授業に取り組むと良いことを話されました。



## 「タブレットを利用した教材作り」

講師 内田洋行 研修グループ 大塚 哲也

デジタルカメラの機能について詳細を改めて学んだり、協働学習ソフト(デジタルスクールノート)(wivia)の活用方法を身につけたりしました。各グループ共通の問題を解き、プロジェクターで発表し意見を話し合う実践的な研修が行われました。

タブレット活用について、これから実際に各小・中学校にタブレットが入ったときに注意するポイント・効果などの説明がされ、学校でのICT活用を活性化させる研修になりました。





習志野市総合教育センターでは、子ども達の主体的に学ぶ意欲に応えるために、映像教室・講演会・科学教室・学習教室が行われています。ここでは、6月の講演会と夏休み中に開催された科学教室で意欲的に学ぶ子ども達の様子を御紹介します。

## 講演会「さけが大きくなるまで」

本年度、第2回目の「わくわく学びランド」が6月20日（火）に行われました。当日は、小学生と中学生を合わせて50名、保護者と幼児・園児を合わせて24名、合計74名の皆さんが、千葉県立佐倉高等学校で「生物」を担当している石島秋彦先生の講演を聞きました。本物のさけを触ったり水中で泳ぐさけの映像を見たりしながら充実した学習ができました。なお、今回の講演会は、千葉県教育委員会「小・中・高連携の特別授業」の制度を利用して実施されました。

### <子ども達の感想>

◇魚ってすごい。さけのあぶらびれがフミフミしている。

さけって力が強い。

◇さけは、何も食べないで川を上るのにおなかがすかないのかと思いました。でも、先生の話聞いて分かりました。

◇いろいろな形の魚がいるんだなあと思いました。先生は絵が上手だと思いました。楽しい授業をありがとうございました。

◇卵を産んだら死ぬのが、かわいそうだった。

親が死んだら川に栄養を残すからお魚はすごいなあと思った。

◇小学生にも分かりやすく、中学生のために専門用語を使ってくださったりして理解がしやすかったです。そして、豆知識なども面白く、実際に触れてみたりして楽しかったからいつの間にか時間が過ぎていました。またいつかこのような授業を受けたいと思いました。



本物のさけを興味深げに触る子ども

### <保護者の感想>

□魚や生き物が大好きなので、一生懸命に話を聞いていました。年長児から大人まで理解しやすく、また楽しくお話ししていただきありがとうございました。身近なさけやイクラが、どのように育っているかがよく分かりました。

□今日は石島先生の分かりやすいさけのお話が聞けて、また、あぶらびれを初めて知り、とても勉強になりました。なかなか触れる機会もないのでとてもよかったです。高校生を教えている先生が、小学生にどんな風にお話ししてくれるのか興味深かったのですが、声が大きくて聞きやすい講演でした。絵がとても上手で分かりやすかったです。“好きは努力に勝る”の言葉に納得しました。先生の生物に対する情熱も感じました。また、小学生の元気の良さにびっくりしました。



手を挙げて発表する子ども達



## 科学教室「葉っぱの化石を見つけよう」

7月25日（火）には、千葉県立現代産業科学館職員の方々を講師として、化石の作り方などについて学んだ後、子ども達が自分の力で石の中から本物の化石を見つけ出す活動に取り組みました。ドライバーの先で石の層を一枚一枚剥がすときには、どの子も真剣な表情が見られました。

# 中学校総合体育大会 ～さらなるステップアップへ～

第六中学校 教頭 野村 健一

部活動は、学校生活の中で生徒たち自身が選べる数少ない活動の中の一つです。また、顧問が生徒たちとともに決めた目標に向かって進んでいる素晴らしい時間です。総体後、先生方は3年間精一杯やり抜いたことを褒めると同時に、3年生にはここから自分の大切な進路選択ができるようにします。また、1・2年生には先輩が見せてくれた心・技・体を引き継ぎ、更に新チームで頑張らせることを教えていくことが必要だと考えます。もうすぐ、9月に入ります。3年生は3月の卒業式へ向け、1・2年生は来年の総体へ向け、良いスタートをきってほしいと思います。



習志野市総合体育大会総合開会式

## 習志野高校海外語学研修

平成29年海外語学研修に参加して

習志野高等学校 1年 渡邊 美音

平成29年7月15日から24日まで、習志野高校の1・2年生10人がオーストラリアのブリズベンでの海外語学研修に参加しました。

クーラムステートハイスクールという現地の高校に5日間通い、オーストラリアの高校生と一緒に授業を受けました。最初は知っている単語を繋げただけの会話や身振り手振りで必死に伝えていましたが、だんだん耳が慣れてくると普通に喋れるようになってきている自分に驚きました。

また、この研修の間はひとりずつ現地の家庭にホームステイをして、日常生活での英語を学びました。週末には、ホストファミリーと観光やショッピングに出かけ、様々な体験をすることで文化の違いを感じることもできました。

この語学研修を通して、英語での表現の仕方や発音、場面や状況によつての言葉の使い分け方など、様々な事を学ぶことができました。

私を含め、一緒に参加した仲間もこの研修を契機に「もっと英語を勉強したい。」と感想を持った人も多く、大変貴重な経験になりました。



クーラムステートハイスクールの授業

**編集後記** 「主体的な学びのために」という視点から、教員・児童・生徒が、自らを高めていくための様々な活動を取り上げました。“他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる”という言葉があります。自ら学んだことを今後の生活や実践に活かし、よりよい未来、よりよい人生を拓いていきましょう。取材への御協力をいただきました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。